

2018年度事業計画

自2018年4月 1日
至2019年3月31日

公益財団法人久留米文化振興会

I. 事業活動方針

当財団が管理・運営する石橋文化センターは株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈した複合文化施設です。

2016年10月には、石橋美術館の運営が公益財団法人石橋財団から久留米市に移行され、久留米市美術館並びに石橋正二郎記念館としてスタートしました。当財団は運営移行後、久留米市が策定した「新たな美術館の基本方針」に基づき指定管理者として管理運営を担っています。

運営移行3年目となる今年度は、「美術館の基本方針」の4つのコンセプトの1つである「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」をさらに推進していきます。この活動は、美術館の活動と庭園やホール等で実施する事業の連携により相互の魅力向上を図るもので、市民が多様な芸術文化に気軽に触れる機会を創出しようとするものです。

また、久留米シティプラザ内に「石橋文化センター情報サテライト」を新たに開設します。このような市内の文化施設との連携により市民の利便性と相乗効果を高め、地域の芸術文化の振興に寄与していきます。

当財団は、リニューアルした友の会制度や企業や団体からの協賛制度により、石橋文化センター及び久留米市美術館の事業への理解と支援の輪をさらに広げ、石橋文化センターがより多くの人々に「楽しみと幸福の時間。」を感じていただけるよう事業を実施していきます。

Ⅱ. 重点的な取組み

1. 新たな美術館の基本方針に基づく事業推進

(1) 郷土の歴史をふまえた特徴あるコレクション形成

久留米市の収集方針に基づく作品収集のため、候補作品を久留米市に提案し、特徴あるコレクション形成に寄与する。

(2) 魅力ある展覧会や教育普及活動の展開

- ・公益財団法人石橋財団の特別助成による「名画が奏でる8つのフーガ展」の実施
- ・所蔵作品を中心とした「久留米市美術館コレクション展」の実施
- ・巡回展の実施(求道の画家岸田劉生と椿貞雄、長谷川利行展など)
- ・本館1階を活用した展覧会の実施(ブラティスラヴァ世界絵本原画展)
- ・各展覧会に関連した講座やワークショップ等の実施

(3) 石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動の推進

久留米市美術館開館を契機として始めたミュージアム化事業を推進し、市民の美術館として世代を超えて親しみを持っていただけるよう取り組む。

①エリア内各施設と展覧会との連携事業

- ・庭園や文化ホール、記念館で行う事業との連携
- ・楽水亭での展覧会コラボメニューの実施
- ・図書館事業として設置される展覧会特設コーナー等への協力

②未来へつなぐ創造事業

以下3つのプロジェクトを中心とした「アート・フェスティバル」

- ・アーティストと子どもたちによるアート創造プロジェクト
- ・アーティストを志す大学生等への創作活動支援プロジェクト
- ・アーティストとの市民創作プロジェクト

③開園、開館記念事業の実施 ※開園日4月26日、開館日11月19日

- ・石橋文化センター開園記念日前後に開催するスケッチ大会
- ・開園、開館記念日前後に実施する無料入館の取り組み

(4) 市民と共に創り育てる仕組みづくり

①友の会会員の増加

昨年度、ミュージアム会員を加えリニューアルした友の会会員の増加を図り、石橋文化センター並びに美術館のファン層拡大に努める。

②協賛制度の取り組み

企業、団体、学校からの支援を募り事業拡大を図るとともに、企業内研修や学生の久留米市美術館、石橋正二郎記念館の利用を推進する。

2. 石橋正二郎記念館の積極的な活用

- ・小中学生の美術館来館時の石橋正二郎記念館の活用
- ・企業・団体の研修利用推進
- ・コンサートや記念館クイズの実施

3. 石橋文化センターブランディングの推進

久留米市美術館開館を契機に新たに導入したブランディングを推進し、石橋文化センター全体のブランドイメージを高める。

また、ゾーニングを活かした取り組みとして、開園 60 周年並びに美術館開館を機に公益財団法人石橋財団からの助成を受け整備したガーデンテラスでのコンサートやバラフェアなど7つの花のイベント等により、「楽しみと幸福の時間。」を提供していく。

4. 広報・情報発信の強化

組織を横断した「事業・広報連携プロジェクト」を立ち上げ、展覧会を中心にホールや園内事業との連携を図り、効果的な事業実施と広報を展開していく。

①マスコミへの情報発信

展覧会におけるプレスリリースのほか、施設内の各種イベントの情報発信を行い、石橋文化センター全体の事業への関心を高めていく。

②石橋文化センターホームページの充実

石橋文化センターホームページに花の開花状況など園内の魅力が分かりやすく伝えられるよう一部リニューアルを行い、入園者の増加を図る。また、石橋文化センターと久留米市美術館の2つの facebook を活用し、タイムリーな情報発信に努める。

③石橋文化センター以外での情報発信

駅や市内でのサイン設置に加え、福岡都市圏でのイベントに併せた PR に努めるとともに、各種雑誌への情報提供にも取り組んでいく。

5. 久留米シティプラザとの連携

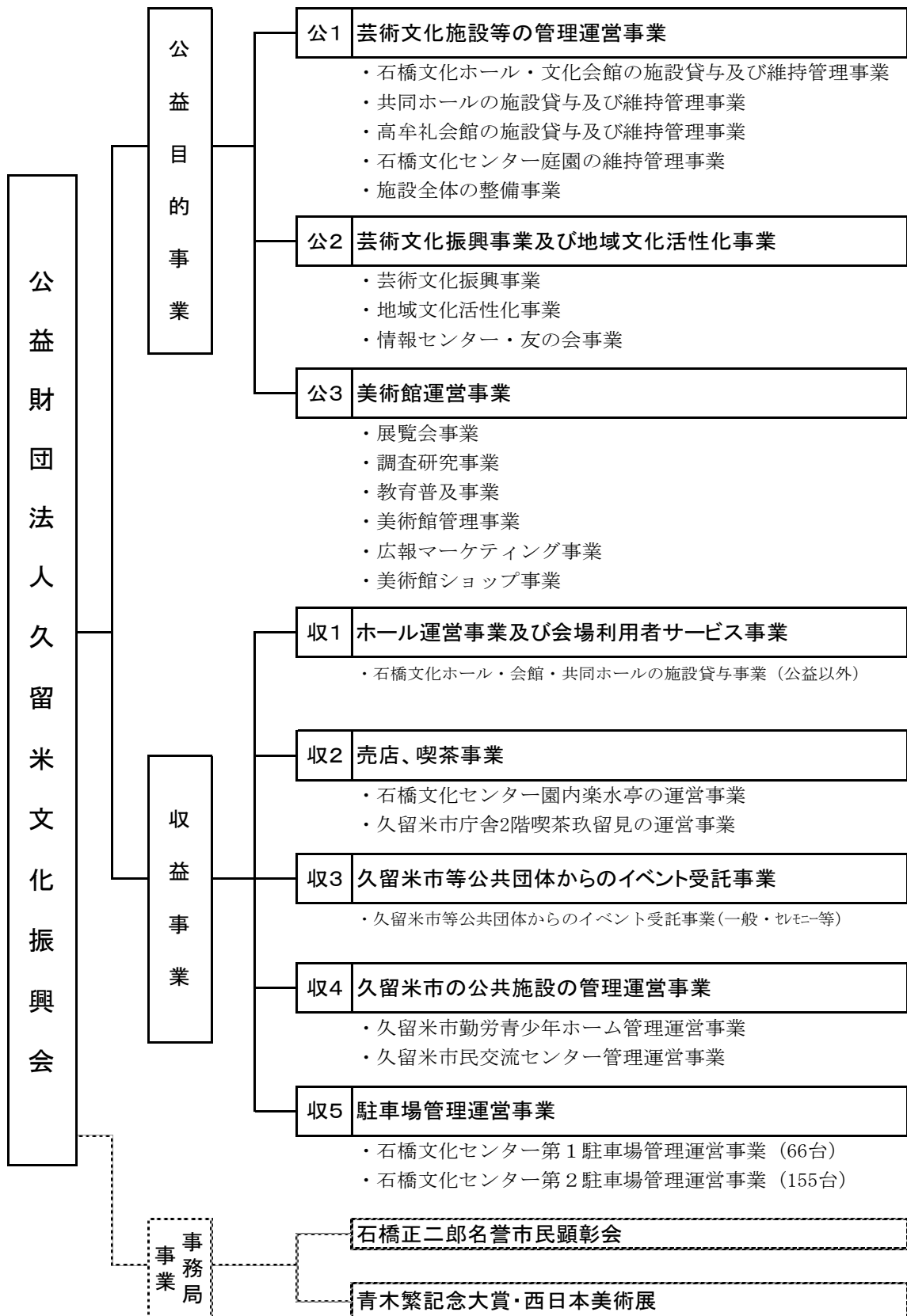
久留米シティプラザ内に「石橋文化センター情報サテライト」を開設し、石橋文化センター、美術館及び市内の文化情報を発信していく。

6. 組織体制の強化

課長級による運営会議（月2回開催）等を通じ、一体的な組織運営を推進し、業務の効率化を図っている。今年度は、美術館を含む施設維持管理の一元化を行い更なる効率化を図る。

Ⅲ. 事業内容

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



【公益目的事業】

1. 芸術文化施設の管理運営事業

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の維持管理及び施設貸与事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組む。

また、ホール来場者（貸館事業含む）に向けた久留米市美術館利用促進を図る。

(1) 施設の貸与事業

直接窓口で利用者の声を伺うことで、市民のニーズを的確に把握し、公平性、透明性を確保しながら、利用者の創造性が十分に発揮できるように柔軟性をもった施設運営を行う。

①石橋文化ホール・文化会館・共同ホール

安心、安全を基本とし、それぞれのホールの特性を熟知した専門性を有するスタッフを配置することで、利用者の立場に寄り添ったサービス提供を行う。

また、「ホール利活用講座」などの新規事業を行うことで、幼稚園、保育園や小中高校への利用促進を図る。

②高牟礼会館

伝統ある高牟礼会館では、老朽化に伴う修繕など、迅速かつ細やかに対応し、安心、安全を確保する。また、高牟礼会館を拠点に活動するサークル団体の利用時間の調整など、積極的なサポートを行う。

(2) 施設の維持管理

①庭 園

センターの魅力であるバラ園の維持管理を中心に、園内のゾーニングに基づく庭園管理を行い、「石橋文化センター全体のミュージアム化」をハード面から推進していく。また、展覧会や園内で実施する事業を考慮した維持管理に努めるとともに、ガーデンサポーター等、市民ボランティアとの協働による四季を通じた魅力創出により入園者拡大に努める。

②施設整備事業

各施設の安全面を維持するための整備を行う。

2. 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

ホールや園内で行う文化事業と美術館事業を連携し、石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉え事業を展開し、相乗効果を生み出していく。

(1) 芸術文化振興事業

ホールでの鑑賞事業や市民の発表の機会を提供する事業に加え、美術館と連携した事業に取り組む。

A. 国内外の優れた芸術・舞台公演の鑑賞機会を提供する事業

- ・佐藤しのぶ～團伊玖磨先生へのオマージュ～
- ・ドラゴンクエストコンサートの世界 in 久留米（オーケストラ）
- ・声優朗読劇「フォアレーゼン」（共催事業）

B. 市民参加の文化振興事業

- ・第 29 回くるめ新人演奏会（新人音楽家によるコンサート）
- ・第 30 回くるめ音楽祭（吹奏楽祭・合唱祭・アンサンブルフェスティバル）
- ・第 47 回ニューイヤール・バンド・フェスティバル（吹奏楽合同バンド）

C. 石橋文化センターミュージアム化事業

- ・ミュージアムコンサート（展覧会に合わせ年 10 回程度）
- ・石橋文化センターアートフェスティバル
- ・季節に合わせたミュージアムイベント（クリスマス、バレンタイン等）
- ・ガーデンテラスコンサート

D. 次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

- ・石橋文化センタースケッチ大会
- ・ブラスクリニック
- ・古典芸能、音楽等の体験を行う学校への芸術家等派遣事業（受託事業）

(2) 地域文化活性化事業

A. 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

四季折々の魅力をテーマとした事業を展開していく。特に、春のバラフェアでは、美術館 1 階に展覧会をテーマとした撮影コーナーを設置し展覧会との連携を図る。また、ミュージアムコンサート開催日と花の開花時期を合わせ、相乗効果による集客向上を目指す。

〔7つの花のイベント〕

- ・春のバラフェア
- ・あじさい・はなしょうぶまつり
- ・秋のバラフェア
- ・もみじまつり
- ・春の花まつり「梅まつり」
- ・春の花まつり「つばきまつり」
- ・春の花まつり「SAKURAまつり」

B. 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業（受託）

市民に音楽に触れる機会や環境を提供するため、市内各所でコンサート等を実施するとともに、若手の人材育成を図る。

- ・くるめ街かど音楽祭
- ・くるめライブチャレンジ

(3) 情報センター・友の会事業

- A. 情報誌の発行・ホームページの運営
情報誌「みどりのリズム」を毎月発行する。
ホームページに加え、フェイスブックを活用した情報発信を行う。
- B. 友の会事業
美術館の年間フリーパスなどを取り入れ（ミュージアム会員）、昨年度リニューアルした友の会制度の魅力を高め、会員の増加を図る。
- C. 石橋文化センター情報サテライト開設
久留米シティプラザ内に「石橋文化センター情報サテライト」を開設し、石橋文化センター、美術館及び市内の文化情報を発信していく。

3. 美術館運営事業

2016年11月に新たに開館した久留米市美術館と石橋正二郎記念館を、「美術館の基本方針」に基づき、市民に親しまれる美術館を目指し、指定管理者として管理運営を行う。

(1) 展覧会事業

- 〔2階〕①求道の画家 岸田劉生と椿貞雄
4月7日（土）～6月17日（日）
- ②名画が奏でる8つのフーガ 青木・セザンヌ・ルノワール
ブリヂストン美術館コレクション展
※公益財団法人石橋財団特別助成
7月14日（土）～9月9日（日）
- ③長谷川利行展
9月22日（土）～11月4日（日）
- ④サンダーソンアーカイブ
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展 美しい生活を求めて
11月17日（土）～12月27日（木）
- ⑤久留米市美術館コレクション展
1月19日（土）～3月24日（日）
- 〔1階〕ブラティスラヴァ世界絵本原画展
7月21日（土）～9月9日（日）

(2) 石橋正二郎記念館の運営

生涯を通じて、故郷である久留米市の発展に尽力した石橋正二郎名誉市民の歩みやひととなりを様々な資料により紹介するとともに、郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターの芸術文化の拠点としての変遷を紹介する。

また、石橋コレクションの中からテーマに添った作品を展示していく。

- ①正二郎と石橋文化センター 4月7日（土）～7月8日（日）
- ②正二郎とヌード 7月14日（土）～11月11日（日）
- ③正二郎と坂本繁二郎 11月17日（土）～3月31日（日）

- (3) 調査研究事業
 - ・ 作品収集、保存・修復のための調査研究
 - ・ 作家・作品及び展覧会企画のための調査研究
- (4) 教育普及事業
 - ・ 展覧会に関する美術講座の開催
 - ・ 小中学生の美術館鑑賞受入や美術分野の体験講座の開催
 - ・ 美術館ボランティアの研修
 - ・ アートフェスティバル
- (5) 美術館管理事業
 - ・ 作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
 - ・ ギャラリー貸与事業
- (6) 広報マーケティング事業
 - ・ 美術館及び美術館活動に関する情報発信
- (7) 美術館ショップ事業
 - ・ 所蔵品や展覧会の図録、関連書籍、こども向け画材などの販売
 - ・ 絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

4. 協賛制度

久留米市美術館開館を契機とした、「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」など新たな事業を推進し、「楽しみと幸福の時間。」を創出していくために、多くの企業、団体、個人の皆様から協賛を募る。

協賛制度は、久留米市美術館と石橋文化センター事業等の支援と入園者及び入館者数の拡大を図ることを目的とする。

【収益事業】

1. ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

会場利用に際し、付随するサービス（看板や追加備品、装飾など）を積極的に提案し、利用者の負担軽減と包括的なサービス提供による利便性向上に努める。

2. 売店・喫茶事業

公共施設の中にある店舗であることを念頭に置き、収益の確保に努めるとともに、市民が利用しやすいメニュー構成や魅力的な地域食材の活用に取り組むとともに価格設定にも配慮する。

(1) カフェ・ギャラリーショップ「楽水亭」（園内）

久留米市美術館の展覧会にちなんだギャラリーショップ商品を取りそろえるとともに、園内のミュージアム化事業と連携し利用者の拡大を狙う。

(2) 喫茶「玖留見」（市庁舎2階）

魅力的な月替わりメニューを提供するなどリピーターを確保し、収益の確保に努める。

3. 久留米市等公共団体からのイベント受託事業（一般事業受託）

久留米市が主催する記念式典や開通式、表彰式など、当財団の事業ノウハウを活用し、公共イベントの円滑な運営に寄与する。

4. 久留米市の公共施設の管理運営事業

(1) 久留米市勤労青少年ホーム

石橋文化センターでの施設管理の経験とノウハウを活かし、効率的に管理運営を行い、施設の特性を最大限に引き出すことで利用者の増加を促進する。

(2) 久留米市民交流センター（久留米市庁舎2階）

効率的に管理運営を行い、市民サービスの向上を図る。

5. 駐車場管理運営事業

石橋文化センターエリア全体の情報及び観光バスを含む駐車場混雑状況を事前に集約し、適切な配置及び周辺施設との連携により、混雑防止対策を講じ、利用者サービス向上を図る。

【事務局事業】

郷土に生まれた先達の功績を顕彰し、全国へ向けて発信するとともに、創作活動を奨励し、芸術文化のさらなる活性化に寄与する。

主に以下の事業の事務局機能を担い、実行委員会を主体としながら、関係団体との調整を十分に図り、効率的な運営と事業促進に努める。

1. 石橋正二郎名誉市民顕彰会
2. 青木繁記念大賞・西日本美術展